

サンケイ06.8.05

芦屋―広島間リレー走破、あす式典に参加

今年も平和マラソン

新メンバー加わり継続

平和を願って芦屋―広島 参加する「平和マラソン」間をリレー走破し、六日に行われる平和式典に、昨年広島で行われる平和式典に、でラストランのはずだった



広島をめざして平和マラソンに出発したメンバー
11月3日、芦屋市役所前

が、平和への思いは尽きず、新たなメンバーも加わって継続することに。三日朝、芦屋市役所前をスタートしたメンバー九人は、四日、広島・福山市に到着した。

このマラソンは、ノーベール賞学者の故・湯川秀樹博士の平和運動に共感した声

芦屋市の故・三木政憲さんと静岡県の笠原竹一さんを中心に、喜寿の七十七歳まで続けようと、昭和五十九年に開始。毎年、十人前後のメンバーがタスキをリレーしながら交代で数から数十キロ走り、四日間で約三百六十キロを走破してきた。

三木さんは第八回のあと病気で亡くなり、メンバーも次第に高齢化。スタート時の目標だった十回を終えたため、昨年でラストランにする予定だったが、趣旨に賛同した宝塚市逆瀬川の

山崎博之さんら新メンバー三人が参加を申し出た。三日午前八時半、北村春江市長らに見送られ「地球から核兵器をなくそう」

と書いた横断幕を掲げて市役所前を出発したメンバーは、夕方、相生市に到着。四日は、午前六時半に同市を出て福山市を目指した。